

News Release

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2024 年 2 月 21 日

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部
株式会社 NTT ArtTechnology

「横浜トリエンナーレ オリジナルグッズ開発ワークショップ」DAY3 を開催 ～今後、商品化・販売されるオリジナルグッズアイデア最優秀作品が決定～

東日本電信電話株式会社 神奈川事業部（執行役員 神奈川事業部長：相原 朋子、以下「NTT 東日本 神奈川事業部」）と株式会社 NTT ArtTechnology（代表取締役社長：国枝 学、以下「NTT ArtTechnology」）は、横浜トリエンナーレ組織委員会と共同で、第 8 回横浜トリエンナーレにおける次世代育成プログラムの一環として「横浜トリエンナーレ オリジナルグッズ開発ワークショップ」DAY3 を 2024 年 2 月 4 日（日）に開催しました。

各グループで「野草：いま、ここで生きてる」を解釈して生み出したアイデア・試作品を発表し、審査を行いました。最優秀作品に選ばれたアイデアは、今後、「未来のクリエイターグッズ」として商品化・販売が予定されています。

* ワークショップ特設サイト__<https://www.yokotori-ws.jp/>

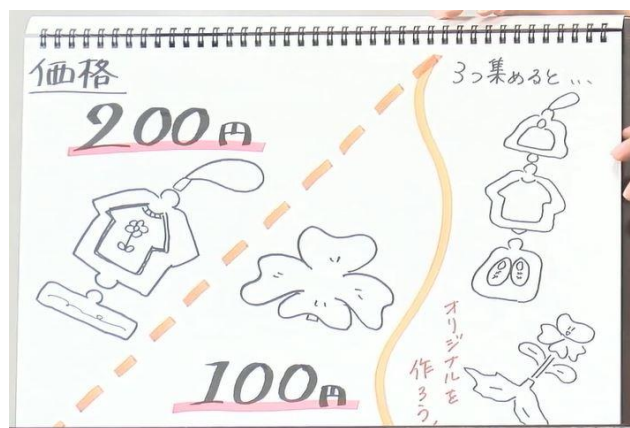
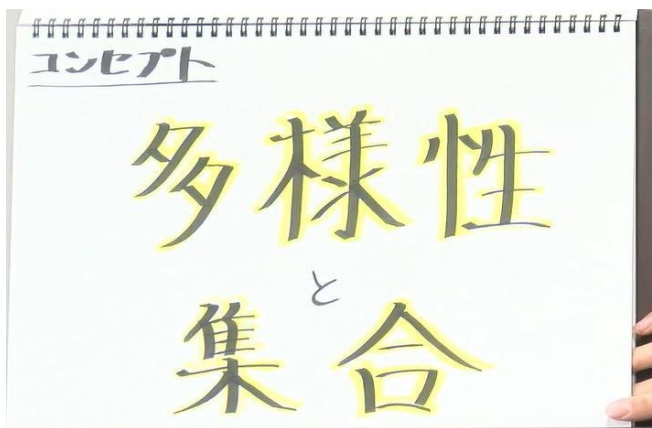
* 過去の報道発表__<https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/index.html>

1. 最優秀作品「野草ガチャ」

最優秀作品に選ばれたのはチームニョキニョキの「野草ガチャ」です。第 8 回横浜トリエンナーレのテーマ「野草：いま、ここで生きてる」から「多様性と集合」という着想を得て、3つのアイテムが様々な組み合わせることで、自身オリジナルのグッズができあがる設計になっています。

そして、野草を引っ張ると絵柄の異なるグッズが出てくる仕掛けです。アイテムの購入自体が楽しい体験になるような工夫がされている点が高く評価され最優秀作品に選出されました。





2. 「横浜トリエンナーレ オリジナルグッズ開発ワークショップ」 DAY3 概要

- (1) 日時：2024年2月4日（日）10時00分～17時30分
- (2) 場所：NTT 東日本ショールーム「光 HOUSE YOKOHAMA」＜住所：横浜市中区山下町198＞
- (3) 配信・アーカイブURL：ワークショップ特設サイト__<https://www.yokotori-ws.jp/>
- (4) 参加者：高校生以上のオリジナルグッズ開発希望者 34名
- (5) カリキュラム概要：

DAY1 及び DAY2 において第8回横浜トリエンナーレのテーマを学んだ上で企画したアイデアをデジタルファブリケーション機材も使って実際に制作。

その試作品を参加者の考え・想いとあわせて発表を実施。審査員が最優秀作品等を決定。

3. ワークショップ実施模様

■ 最終ノミネートされた試作品とチームメンバー



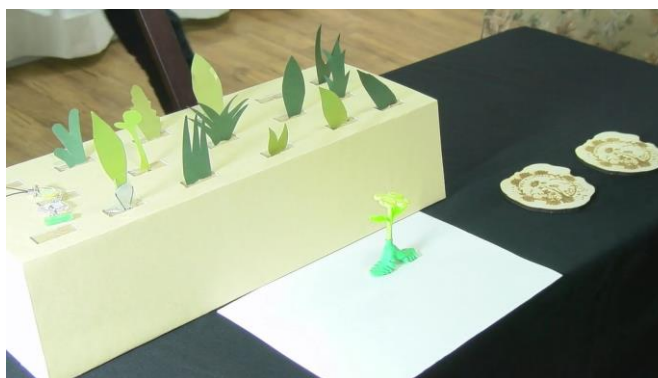
チーム名：みずいろ タイトル：水でつながる”いのち”の時計



チーム名：チームほっと タイトル：ハーブのバスソルト”広がる”



チーム名：チームくさかんむり タイトル：アパレルくさかんむり



チーム名：チームニョキニョキ タイトル：「野草ガチャ」「木製コースター」



チーム名：おてふき タイトル：野草タオル

■ ワークショップ参加チームのコメント

「プレゼンテーションをすることで、チームとしての考え・コンセプト・検討プロセスを改めて整理できて、自分たちがグッズを作ったことの実感が改めて湧いた。偶然出会ったメンバーが、ワークショップの時間だけでなく、メンバー間で連絡を取り合い、各自が考えていることなどの共有もされていたので、触発され多くの刺激を受けた。こういうワークショップのやり方は良いと思いました。アイデアを形にするのはエネルギーが必要なことだけど、期限が限られた中で協力・集中して頑張って制作活動ができたことは、非常に良い経験になった。」

「アーティスト作品からグッズ化されることも多い中、今回のワークショップではイベントテーマを題材にして、かつデジタルファブリケーション機材を使って、多くのアイデアが形になっていくことは、とても面白かった。他チームの発表を聞いて、短期間で独創性あるアイデアを生み出せていることにとても驚いている。個人ひとりでは限界があるので、チームで取り組んだ効果なのだと思う。」

「自分たちのチームの特長として、笑いが多かったことが良かった。ディスカッション当初にできたコンセプトがブレることなく一途にグッズ化に深掘りしていったこと、プレゼンテーションも工夫を凝らしてできたことは結果につながったと思う。」

「自分の想い・考えがたくさんあり、久しぶりのプレゼンテーションで時間超過してしまった。」

アイデアが形になったことが嬉しい反面、多くの人から意見をもらうことでもっと良くすることができたとも感じている。」

「アートやグッズ制作の専門知識・経験がなく、ワークショップ参加前は不安が大きかったが、いろいろな年齢や立場のメンバーから刺激・影響を受けて、独りよがりでない自分なりの表現をしたものを褒めてもらえた時は、とても良い経験・勉強となった。ワークショップ参加者30－40人がコミュニケーションを通じて、これだけのアイデアが生まれるのだから、世界は広いということを感じた。これが終わることを寂しくも思う。機会をいただけた関係者の方に感謝をしたい。」

「デジタルファブリケーション機材を使って制作ができたことは楽しかったが、準備が不足していた部分もあり全てを作りこめなかったので、今後、ファブラボなどを利用して新たな制作活動もしていきたい。レーザーカッター、3Dプリンター、UVプリンターなどを初めて使ってみて、新しい世界をすることができたのが嬉しい。」

「各チームのアイデアが生まれたコンセプトのところから、ファブラボサポーターの方の技術支援によってアイデアが形になっていくプロセスを知ることができたので、とても面白かった。トリエンナーレの企画・テーマを自分たちなりに解釈してアイデアに落とし込み、でも押しつけがましくなく、思い出が記憶に残るものとしてお客様が手に取りたくなるように作り上げた作品が実際に実物として形になると、わが子のようにとても愛おしく感じています。」

■ 審査員の講評

▼中山典科 氏（グラフィックデザイナー）

「皆さんのアイデアがお店に陳列されたとき、お客様がどんな体験をするのかを想像しながら審査をしました。最優秀作品の野草ガチャも、絵柄のモチーフを増やすアイデアもあると思うので、皆で話をして改良しながら、販売されるお土産グッズとして、どんどん良い形にしていけばと思っています。また、作品の中には、購入したお客様がコミュニケーションをとれるグッズになっているものも多く、そのアイデアに驚いています。」



▼伊東祥次 氏（デザイナー）

「最優秀作品のグッズは、まだ荒削りではあるが、売り方が楽しそうだったり、来場者もいろいろな意味で楽しんでもらえそうな可能性を秘めているから選ばれたと思います。これから事務局の方と販売できるグッズまで高めて、本当のお土産にしてもらいたい。モノを制作している立場の僕からみても、今回の最終ノミネートされた作品は、どれもとても素晴らしい内容でした。こういうワークショップ・コミュニティで、新たな仲間が生まれることは素敵なことなので、何か別の形でもこういった活動が続いてくれることを期待しています。」



▼丸山晶子 氏（横浜トリエンナーレ組織委員会 事務局次長）

「横浜トリエンナーレのコンセプトをアイデアに落とし込む点では、どの作品も甲乙をつけがたく、その軸で選べないところもあり、安全性や再現性、環境に配慮した素材・仕組み、価格設定など、実際に商品化できるものの観点での審査・議論もありました。その中でも最優秀作品になった野草ガチャは、商品としての仕様を踏まえつつ、そのコンセプトが「多様性と集合」となっており、横浜トリエンナーレ全体で非常に大切にしている価値観を形にしてくれたことを大変嬉しく思います。実際の販売グッズ化に向けて色々な課題がありますが、そういう部分も含めてどのように考え解決していったかを来月の DAY4 オンライン講座で、皆さんに共有していきたいと考えています。」



■ ワークショップのオンライン配信模様



※発表会当日の様子は、特設サイト（<https://www.yokotori-ws.jp/>）から視聴できます

■ ワークショップの取材模様

今回のワークショップ発表会の様子を、地域新聞として情報発信するためにジュニア編集局の記者が、子ども達の見線から取材してくれました。

<*><https://junior.minicity-plus.jp/>

運営：NPO 法人ミニシティ・プラス、
東京都市大学環境情報学部中村研究室



（参考）今後のワークショップ予定

	日時	内容
DAY 1	2024 年 1 月 14 日（日） 10:00～17:30	オリエンテーション、テーマ理解、ディスカッション、グッズの企画検討
DAY 2	2024 年 1 月 20 日（土） 10:00～17:30 2024 年 1 月 21 日（日） 10:00～17:30	試作品の制作作業 ※いずれか 1 日を選択して参加
DAY 3 【今回】	2024 年 2 月 4 日（日） 10:00～17:30	プレゼンテーション ※オンライン配信を実施

オンライン講座

	日時	内容
DAY4	2024 年 3 月 23 日（土） 15:00～16:30	最優秀作品の販売までの過程について

(参考) 第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」開催概要

アーティスティック・ディレクター：リウ・ディン（劉鼎）、キャロル・インホワ・ルー（盧迎華）

会期：2024年3月15日（金）～6月9日（日）

[開場時間：10:00～18:00 | 休場日：毎週木曜日（4/4、5/2、6/6を除く） | 開場日数：78日間]

会場：横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO

主催：横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

公式WEBサイト：<https://www.yokohamatriennale.jp>

(参考) 横浜市と東日本電信電話株式会社が「住みたい・住み続けたい・選ばれる都市の実現に向けたまちづくり」の推進に関する協定を締結

https://www.ntt-east.co.jp/kanagawa/information/pdf/20230922_01.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

● NTT 東日本 神奈川事業部 企画総務部 企画部門 広報担当

TEL：045-226-6123 MAIL：kanagawa-kouhou-ml@east.ntt.co.jp

● 株式会社 NTT ArtTechnology デジタルアート推進事業部

TEL：03-5353-0844 MAIL：info@ntt-arttechnology.com